



骨格構造義足 / その他 / ライナー

Aピンタッチメントあり オズー 1-7032

¥95,000

本年度、厚生労働省完成用部品として、新たに価格表に掲載された、Icerossトランスフェモラルを用いた新しい大腿義足ソケットについてご紹介します。

Icerossトランスフェモラル

Icerossトランスフェモラルは、大腿切断専用設計された世界初のシリコン製サスペンションライナーです。製品の主目的は以下の通りです。

- 1) 良好な大腿義足の自己懸垂
- 2) 装着下、特に立脚相での快適性
- 3) 軟部組織の保護
- 4) 回旋の防止



大腿義足の懸垂についての課題

大腿義足ソケットを製作する上で、良好な自己懸垂の獲得は大きな課題といえます。

大腿切断端の以下の特徴が懸垂獲得を困難にしています。

- ①軟部組織の比率が高く（量が多い）
- ②軟部組織の硬度やトーンも低い（柔らかい）
- ③骨格による懸垂が選択不能で、
- ④会陰部の皮膚が敏感なため近位を締め付けるとの懸垂も不能である。

様々なストラップやベルトも用いられていますが、柔らかで多量の軟部組織自体を全くコントロールしていないため十分な懸垂は得られません。吸着式は軟部組織自体を吸着力によりコントロールする唯一の方法であり、確実に良好な懸垂が得られています。



吸着式大腿ソケットの課題

吸着式大腿ソケットは良好な自己懸垂を提供しますが、いくつかの課題があります。

- ①断端容積に高く依存するため、断端容積が変化すると運動して懸垂性が変化する。
- ②引き布を用いた立位装着が必要なため、高齢者や虚弱者などでは装着が困難な場合がある。
- ③良好な適合を得るには義肢装具士の経験が要求される。また、断端の変化などにより長期にわたる適合維持も困難である。
- ④ソケットは直接肌に接し丸洗いも困難である。長期使用では変色や悪臭が発生し、衛生的に使うことが難しい。

このことが、吸着式の対象者層を狭くしています。今後、高齢化していく現在の切断者には適用がより困難になる傾向が予見されます。